

2015年 秋 夏休みや週末の取り組みで、いろいろな子どもたちとの取り組みや、いろいろな体験を積み重ねて、子どもたちも、日々、たくましく成長してきています。

9 月に開かれた嵯峨嵐山の全国手話研修センターでの「手話まつり」では、はじめて手話を学ぶ方を対象とした手話を学ぶコーナーで、京都府や京都市の聴覚障害者協会の大人の方に交じって手話を教えるお手伝いをしました。

子どもたちは、自分たちが手話を教える先生役をする！ということで、事前の打ち合わせをする顔も、真剣そのもの！！

引張しながら手話を表現したり、説明したり！

緊張のあまり、休憩の度にトイレ行く子どももいました（笑）でも、子どもたちに教わったのが楽しかったと、1日に何度も訪れてくれる方もおられたりしました。

先輩の大人の聴覚障害者に手話を教えてもらいながら、でも、手話を教えることで、子どもたちの表情が少しずつ自信に満ち溢れてくる様子が見られました。

大切な経験をさせて頂いた手話まつりでした。



10 月は、「にじ」でハロウィンを楽しんでいます。

今年は 10 月 17 日の土曜日に「ハロウィンパーティー」を計画しました。午前中に子どもたちが思い思いの衣裳をデザインして、いろいろなカラーのビニール袋を材料にして楽しい衣裳を作りました。色紙で模様を作ったり、トイレットペーパーの芯でホウキや杖を作ったり、いろいろ工夫を凝らした仮装の服を作りました。

午後からは、近所に住んでる友だちのお家に協力をいただいで、「トリックオアトリート！」の決め台詞を言いながら、お宅訪問！

お菓子をもらったり、みんなでクイズをしたりして楽しみました。

11月には各学校では「学習発表会」があって、子どもたちも、学校の勉強や宿題、学習発表会の練習、マラソンの練習など、秋は大忙しです。

12月に京都市聴覚言語障害センターで開かれる「聴言センターまつり」にも、毎年子どもたちが参加して、舞台発表やお店での販売をしてきました。

今年も子どもたちがお祭りを盛り上げるために、発表やお店をします。

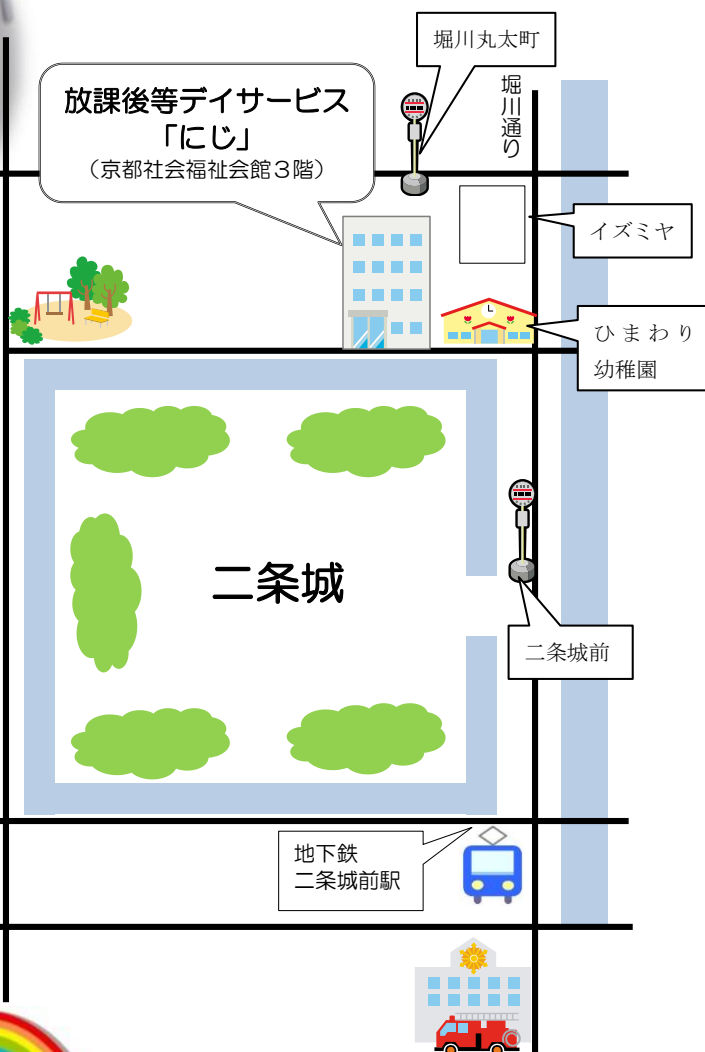
学校が終わって、放課後に「にじ」に集まった時に、少しずつ相談をして、みんなの意見を聞きながら、中味づくりをしてきました。

放課後の少ない時間を使いながら、練習も重ねてきました。



12月になるともうすぐ冬休みです。

12月24日～1月7日は「にじ」の冬休み企画。午前10時～午後4時まで、宿題をしたり、みんなで一緒に遊んだり、いろんな取組をします。兄弟や友だちも一緒に参加できる企画も準備しています。



## 「ろうを生きる難聴を生きる」

### ＜アンコール放送のお知らせ＞

今年の春に放送になりました「ろうを生きる難聴を生きる」の『放課後に集まろう!』の京都聴覚障害児放課後等デイサービス「にじ」の様子の放送がアンコール放送されます。

\*放送予定 12/12 (土) 20:45-21:00

再放送予定 12/18 (金) 12:45-13:00

(緊急報道などが入った場合、日時変更あり)

☆「にじ」の場所は二条城の北側にある京都社会福祉会館の3階です。

最寄りの駅、バス停は

＜地下鉄＞二条城前下車徒歩8分

＜市バス＞二条城前または堀川丸太町



『にじ』へのお問合せは

FAX075-406-7531 TEL 075-406-7530

kyo-kidsday@kyoto-chogen.or.jp